

学校教育総合プラン実施計画 20年度の報告 (逗子市立逗子中学校) 2009.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

I 子どもたちの学力向上

○学校教育総合プランの項目

1 個に応じた指導の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- a 指導法の工夫改善を図り、基礎・基本や自ら学び考える力を育成する。(学習・地域連携部)
- b 少人数指導での習熟度別指導の充実と成果の数値化を図る。(数学・理科・英語)(学習・地域連携部)
- c 学習支援シート(学習カルテ)を作成し、生徒への支援体制の確立(学習・地域連携部)
- d 読解力向上と読書活動の推進(学習・地域連携部)

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

よりよい習慣づけ 基本的な生活習慣と学習習慣との好循環の実現
保護者との連携による基本的な生活習慣の確立
家庭学習の習慣化＝家庭学習計画、予習・復習の励行、保護者への協力依頼

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 基礎学力定着のための 個に応じた指導の充実	少人数指導での習熟度別指導 生徒を励ます評価と実践 授業力の向上の研修	少人数指導の工夫改善 生徒を励ます評価と実践 授業力の向上の研修と長期休業期間の 有効活用	少人数指導の充実 ☆学習支援シートを活用した評価の充 実 ☆授業力の向上の研修・研究と子どもが 主体的に学習を進めていけるような学習 環境整備
	評価 A ● B ● C	評価 S ● A ● B ● C	評価 S ● A ● B ● C
	課題 ・習熟度別授業の改善 ・学習支援シートによる評価 ・全教員による研究授業の実践	課題 ・少人数指導の一層の工夫改善 ・学習支援シートによるきめ細かい評価 ・生徒の意欲を引き出し考える授業の創造 ・夏季休業中の補習(返子中oasis)の改善と教科相談の 充実	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 読解力向上の取り組み の推進	文字文化(新聞・読書)の奨励 学校図書館指導員と連携 指導法の工夫改善	文字文化の奨励の継続 横浜中との連携・研究 音読活動の重視 NIE(教育に新聞を)活動の研究と実践	文字文化の奨励・発展 横浜国大附属横浜中との連携・継続研 究 音読活動の重視の継続 NIE活動の充実
	評価 A ● B ● C	評価 S ● A ● B ● C	評価 S ● A ● B ● C
	課題 ・朝読などの読書活動は行えたが新聞を活用することが まだ不十分である。NIEの実践を今後推進していきたい。	課題 音読活動とNIEについては「言語活動の重視」と関 連して計画中。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 読書活動の推進	返子中学校読書基本計画の作成 朝読書の推進 読書座談会	返子中学校読書基本計画の実施 朝読書の継続 読み聞かせなどの工夫 集団読書の実践	☆返子中学校読書基本計画の継続実 施 朝読書の継続 読み聞かせなどの工夫 集団読書の充実
	評価 A ● B ● C	評価 S ● A ● B ● C	評価 S ● A ● B ● C
	課題 ・読書座談会など図書委員会を中心に行うことができ た。 ・朝読書を更に充実させていきたい。 ・返子中図書検索システムの構築。	課題 ・図書館の蔵書1万冊のデータベース化を終え、学 習への活用が求められる。	課題

行動プラン

④
支援教育の充実

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	支援体制の確立 教育相談・ケース会議の実施 補習体制の充実 学習支援シートの作成	支援体制の改善 教育相談・ケース会議の機能強化 補習体制の改善 学習支援シートの改善・活用	☆支援体制の強化・見直し 教育相談・ケース会議の見直し 補習体制の見直し ☆学習支援シートの活用
	評価 A (B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・補習は年間を通じて計画的に行えるとよい。	課題 ・支援教育委員会を中心とした外部ネットワークづくりとケース会議の充実。 ・一次的援助サービスの視点に立った授業の工夫。	課題

○学校教育総合プランの3つの柱

I 子どもたちの学力向上

○学校教育総合プランの項目

2 健やかな心と身体の育成

実施計画

①実施計画の重点等

- a 心の教育の充実＝豊かな心の育成を教科外指導で重点的に展開する。(学習・地域連携部)
- b 食育の推進するため、全体計画を立案し、実施する。(特活指導部)
- c 暮らしに運動・スポーツの習慣をつけるため、3033運動を推進する。(特活指導部)

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- *特に教科外指導において地域との連携・協働を図る。
- *目的と目標を明らかにしてPTA・保護者との連携・協働を図る。(早寝・早起き・朝ご飯、バレーボール教室など)

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 基本的な生活習慣の育成	時間・清掃・身だしなみ・言葉遣い 新標準服の選定	☆基本的な生活習慣についての地域連携・協働の模索 新標準服導入一年目	☆基本的な生活習慣についての地域連携・協働の実践 新標準服導入二年目
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・時間を大切にすることの励行など今後も続けたい。 ・身だしなみ・言葉遣いについては引き続き指導が必要である。	課題 ・保護者、地域への協力依頼が必要	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 豊かな心を育む教育の充実	道徳の時間の工夫 研究授業公開(湘三地区) 人権教室実施	道徳の時間の工夫 家庭・地域との連携 逗子中あいさつ一新運動 人権学習実施	道徳の時間の工夫 家庭・地域との連携 逗子中あいさつ一新運動 人権学習実施
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題	課題 ・道徳教育の充実 ・生徒会を中心とした挨拶運動及び地域への波及	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 豊かな体験活動の推進	自然体験活動の実施 福祉体験活動の実施 職場体験活動の実施 交流体験活動の実施 防災体験活動の実施	自然体験活動の充実 福祉体験活動の充実 職場体験活動の充実 交流体験活動の充実 防災体験活動の充実	自然体験活動の見直し 福祉体験活動の見直し 職場体験活動の見直し 交流体験活動の見直し 防災体験活動の見直し
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	
	課題 ・福祉体験学習 交流体験 防災体験の充実が必要である。	課題 ・単発に終わらない継続的な取組の必要性	課題

行動プラン

④
健康教育の推進

H19(2007)年度予定内容

H20(2008)年度予定内容

H21(2009)年度予定内容

「食」学習の試行 食育全体計画立案 イキイキスクールの立案 3033運動の立案 健康教室(全学年)実施	☆食育全体計画立案 ☆イキイキスクールの立案 ☆3033運動の立案 救命・救急法講習会実施	☆食育全体計画実の実施 イキイキスクールの推進 ☆体力づくり運動の実施 救命・救急法講習会実施
評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
課題 ・食育全体計画の作成を急ぐ必要がある。 ・部活動の確認と改善	課題 ・3033運動と体力づくり運動を関連付けた計画化	課題

学校教育総合プラン実施計画 20年度の報告 (逗子市立逗子中学校) 2009.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

II 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

1 多様な教育課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

- a 魅力と特色のある学校づくり(教務・管理運営部)
- b 課題の整理と組織の機動化、外部機関との連携による対応(学習・地域連携部)
- c 安全・安心な学校づくり、生徒の防災・防犯意識の向上推進(生徒支援部)
- d 総合的な学習の充実を図り、知識を生かす力を育成する(学習・地域連携部)

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- *学校評議員をはじめとした地域教育力の活用、地域との連携
- *保護者との協働を図り、家庭の教育力向上を支援する。

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<p>行動プラン</p> <p>① 子どもの安全と安心の確保の推進</p>	<p>防犯と不審者対策の強化 CAPプログラムの実施 地域防災への参画(準備)</p> <p>登下校指導(逗子高と連携) 安全点検日</p> <p>評価 A・B・C</p> <p>課題・地域防災への参画については次年度実現をめざしたい。</p>	<p>防犯と不審者対策の強化 CAP(子ども暴力防止プログラム)の実施 ☆地域防災への参画(準備) 防災体験学習の実施 登下校指導(逗子高と連携)の発展 安全点検日の充実</p> <p>評価 S・A・B・C</p> <p>課題・地域防災への参画は継続課題。</p>	<p>防犯と不審者対策の強化 CAPの実施 地域防災への参画・訓練 校外防災体験学習の実施 登下校指導(逗子高と連携)の発展 安全点検日の充実</p> <p>評価 S・A・B・C</p> <p>課題</p>
<p>行動プラン</p> <p>② いじめ・不登校等への対応の推進</p>	<p>人権学習 不登校の予防と早期対応 人間関係づくり</p> <p>評価 A・B・C</p> <p>課題・年度途中から行っている不登校の早期対応も軌道に乗ってきたので次年度にも協力的に継続していきたい。</p>	<p>人権学習 不登校の予防と早期対応 行事を利用した人間関係づくり</p> <p>評価 S・A・B・C</p> <p>課題・学校体制整備による不登校対応の必要性。</p>	<p>人権学習 不登校の予防と早期対応 行事を利用した人間関係づくり</p> <p>評価 S・A・B・C</p> <p>課題</p>
<p>行動プラン</p> <p>③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進</p>	<p>出前授業の実践(英語 保体) 情報交換と情報共有・指導連携 逗教研での実践と研究推進</p> <p>評価 A・B・C</p> <p>課題・小学校との情報交換会は、卒業時だけの情報交換会になっている。 ・逗教研などでの小中連携については小学校の担当者とも連携を密にとっていきたい。</p>	<p>出前授業の拡大 学区内の小中教職員の親睦会 部活交流の計画・実践(中高)</p> <p>評価 S・A・B・C</p> <p>課題・小学校との連携担当者の継続。 ・逗子高校との定期的な担当者の開催。</p>	<p>☆出前授業の拡大 学区内の小中教職員の交流 ☆小中連携担当者会の継続開催 ☆中高連携担当者会の定期開催 部活交流の計画・実践(中高)</p> <p>評価 S・A・B・C</p> <p>課題</p>

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 国際理解教育の推進	IEAの積極的活用 異文化理解・教材開発	☆IEA(国際理解教育助手)、地域講師 による授業 異文化理解・教材開発	☆IEA, 地域講師による計画的な授業 異文化理解・教材開発
	評価 A・B・ C	評価 S・A・ B ・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・IEAは、英語の授業を中心とした活用だけをおこなった。異文化の理解ということは不足していた。	課題 ・IEAによる国際理解レポートの作成は終わったので、それを活用した授業が求められる。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑤ キャリア教育の推進	自己理解・職業学習 職場体験活動 進路選択・決定	地域講師による授業 職場体験活動の充実 自己理解・職業学習 進路選択・決定	☆地域講師による計画的な授業 職場体験活動地域の拡大 自己理解・職業学習 進路選択・決定
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・職業体験学習の充実を検討する。	課題 ・地域講師を活用した計画的なキャリア教育	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑥ 福祉教育の推進	福祉体験学習 福祉作文・人権作文 福祉施設との交流	福祉体験学習(小学校との連携) 福祉作文・人権作文 福祉施設との交流	福祉体験学習の充実(小学校との連携) 福祉作文・人権作文 福祉施設との交流
	評価 A・B・ C	評価 S・A・ B ・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・総合的な学習の時間の中に組み入れることができなかった。	課題 ・総合的な学習の時間の3年間を見通した計画に入れる。	課題

行動プラン	H19(2007)年度実施内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑦ 環境教育の推進	逗子市学校版環境ISO 取得準備計画立案	逗子市学校版環境ISO 取得準備計画実施	逗子市学校版環境ISO取得 ☆「蛍の里づくり」運動の取組
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・生徒会の担当者と共に情報収集につとめ、次年度からの実施に向けて進めていく。 ・生徒自身が変わっていかないと環境ISOは取得できないので生徒の意識を変えていくような働きかけを行わなければならない。	課題 ・生徒会を中心とした取組の継続。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑧ 情報教育の推進	情報モラルの育成 校内ネットワークの推進 情報活用能力の育成 (プレゼンテーションソフトの活用)	情報モラルカリキュラムの見直し 教科センターへのLAN(ローカルエリア ネットワーク)配線 情報活用能力の育成 (映像を活用したプレゼンテーションの推)	情報モラルの推進 普通教室へのLAN配線 情報活用能力の充実(映像を活用したプ レゼンテーションの充実)
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・校内ネットワークを効果的に利用できるようにしていきたい。	課題 ・ノートPCを保護者、地域からの提供を促す。	課題

学校教育総合プラン実施計画 20年度の報告 (逗子市立逗子中学校) 2009.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

2 地域に開かれた学校づくり

実施計画

①実施計画の重点等

- a 学校・家庭・地域の願いの共有と役割分担(学習・地域連携部)
- b 環境・福祉・読書などを通して、教員と保護者・地域の方々との円滑なコミュニケーションの推進(学習・地域連携部)
- c 内部評価・外部評価・PDCAサイクルによる改善システムの運用(教務・管理運営部)
- d 地域の人材把握と活用 連携組織づくり 防犯・防災協力関係の向上(学習・地域連携部)(生徒支援部)

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- * 家庭・保護者との連携をPTAとの協働で推進する。
- * 地域と共につくる学校を推進する組織の確立(地域教育力コーディネーターの創設)

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	HP、各種通信での発信 毎月初日の「学校公開日」 個人情報の管理と保護	情報交換会・懇談会の充実 もてなしの心で迎える工夫 個人情報保護法研修会	HPに「保護者の声コーナー」の設置 学校へ行こう週間の充実 個人情報保護の基本方針の検討 保護に関する規定の検討
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・保護者の中で個人情報の理解の不一致が見られたので再度確認し、わかりやすくしていきたい。	課題 ・個人情報保護についての理解とリスク管理の一層の徹底。	課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 地域教育力の活用	職場体験活動 地域清掃・書き初め・健康教育 防犯防災教室 図書館ボランティア	職場体験活動の拡充検討 自治会との合同地域清掃 書き初め・健康 教育 コーディネーターの創設 ボランティア人数の拡充	職業体験の年間拡散型への検討 避難訓練での消防署による消火活動実 施 ボランティアとともに創る図書室のコー ディネート
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 地域教育力を活用した授業は定着してきている。次年度はさらに増加させていきたい。 地域ボランティアの研修会なども行っていきたい。	課題 ・逗子中学校支援地域本部の設置。	課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 学校評価を生かした 学校の改善	評価方法の工夫改善 成果の検証、改善の実施 評価結果、改善策・成果の公表	市内中学校との評価評定交流会 成果の検証、改善の実施 評価結果、改善策・成果の公表 ☆学校関係者評価の導入	横浜中との評価研究会 成果の検証、改善の実施 評価結果、改善策・成果の公表 (学校関係者評価の実施)
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 学校評価の成果と課題を的確にとらえ、次年度の計画に盛り込んでいきたい。また、学校関係者評価についても研究を深めていきたい。	課題 ・異校種間連携を視点とした学校評価の可能性を追究する。	課題

学校教育総合プラン実施計画 20年度の報告 (逗子市立逗子中学校) 2009.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅲ 教員の指導力向上

○学校教育総合プランの項目

1 教員研修・研究の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- a 「目指す生徒像・育てたい力」を実現する授業実践(学習・地域連携部)
- b 「学意欲を引き出し、自ら学び考える力を育成する」研究授業の積極的実践と課題研修レポート(学習・地域連携部)
- c 研修・研究会・担当者会等の報告による情報の共有化・実践化(教務・管理運営部)

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- *外部機関である「国大附属横浜中学校」との連携と研究
- *保護者・地域(学校間の実践交流)への公開による評価

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 授業研究の充実	一人年2回の研究授業 横浜国大・附属横浜中との連携 学校研究計画の立案準備	テーマ別研究授業(少人数) ☆横浜中との授業交流(横中と逗中) 学校研究の中間発表 (少人数学級研究、他)	テーマ別研究授業(教材教具) 横浜中との評価研究会 学校研究の発表会(研究紀要)
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題・横浜国大付属横浜中学校との連携を一層進めていきたい。	課題・校内研究(テーマ「学ぶ意欲を引き出し、自ら学び考える力を育成する授業」)の発表。	課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 授業評価の活用	生徒による授業評価の工夫 家庭学習と授業評価(試行)	学習サイクルの定着 授業評価シートの研究	学習サイクルについての学習会 授業評価シートを活用した研究授業の 実践
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題・家庭学習の推進と支援を行う。	課題・学習の振り返りの一層の推進。	課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 地域教材の積極的 活用・開発の促進	地域素材の発掘・蓄積 田越川支流の清掃	地域素材の発掘・蓄積 田越川支流の教材化	☆地域環境の教材化とその授業実践
	評価 A・ B ・C	評価 S・A・ B ・C	評価 S・A・B・C
	課題・田越川の支流を中心に地域素材を発掘し、特色ある授業展開を目指したい。	課題・フィールドワークの実施から教材化への過程にある。	課題

行動プラン

④
研修事業の充実

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	校内研修会の充実 横浜国大・附属横浜中との連携 研修情報の共有化・実践化	校内講師の発掘 ☆横浜中との授業交流(横中と逗中) 研修情報の意見交換会	校内講師による研修会 評価評定意見交流会 研修情報のデータベース化(共有フォルダ)
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ・各教員が研修会に参加して学習した内容を、教員全体で共有できる環境を推進する。	課題 ・研修会の選流は図ったが、校内講師による指導技術の継承を計画的に行う。	課題